APAC BESS FINANCE INTELLIGENCE 無料公開

週次リサーチ · W43 · APAC横断

蓄電池が夕方ピークの主役に、収益は契約頼みへ

今週、豪州では蓄電池の夕方ピーク供給シェアが初めてガスを上回る一方、電力価格と裁定スプレッドは引き続き低下しました。AkayshaはA$17.5億で豪州初の大型蓄電池ポートフォリオ借換を完了。日本では小規模マーチャント蓄電所がポートフォリオ単位でノンリコース融資を獲得し続けています。韓国の第3回1,180 MW入札は締切前の最終段階に入りました。

対象期間 **2026/10/19 – 10/25**　発行 **2026/10/26（月）**　市場 **豪州 · 日本 · フィリピン · 韓国 · シンガポール · 台湾**　データ確認 **2026/10/27**

今週の主要判断

5つの結論

1. **豪州：蓄電池は夕方ピークの主力に、ただしマーチャント収益は縮小が続く。**2026年第3四半期、系統用蓄電池はNEM夕方ピーク（16:00–21:00）電力量の8%を供給し、初めてガス（5.1%）を上回りました。蓄電池は給電インターバルの48%で価格を決定。同期のNEM平均価格はA$63/MWh、前年比-27%に低下しました。蓄電池が増えるほど裁定スプレッドは平準化し、ファイナンスはCISの下支えやトーリング契約への依存を強めます。[1,2,3]
2. **豪州：競争はさらに激化。**AEMOの接続待ち容量は80.9 GWに達し、NEMの既存設備容量（約77 GW）を上回りました。エンドツーエンド手続き中の80.0 GWのうち55%が蓄電池です。[4]
3. **豪州：蓄電池ファイナンスは単一案件からポートフォリオ・プラットフォームへ。**Akaysha EnergyはOrana、Elaine、Brendale、Ulinda Parkの4案件についてA$17.5億のポートフォリオ借換を完了。5・7・10年の3トランシェで、11行（みずほ、MUFG、中国銀行を含む）が参加しました。ポートフォリオでの分散により銀行はより長い期間で貸せるようになり、約6 GW / 25 GWhのパイプラインに向けた資金調達基盤が整いました。[16]
4. **日本：小規模マーチャント案件は「束ねる」ことでノンリコース融資へ。**今週イーレックスの千葉2 MW / 8 MWh蓄電所が商業運転を開始。今月初めにはSMTBリースが高圧蓄電所7カ所のポートフォリオにノンリコースPFを提供し、スポンサーは同種のマーチャント・ポートフォリオ融資として初の事例としています。[6,7]
5. **韓国：勝敗を決めるのは依然として価格。**第3回1,180 MW（7.08 GWh）は11/11締切。第2回ではLFP路線のSK Onが第1回のシェアゼロから約50%へ躍進し、価格比重50%のもとではセルコストが鍵であることを示しました。[10,11]

主要数値

今週の6つの数字

NEM 2026年Q3 平均卸電力価格

A$63/MWh

前年比-27%、前期比-15%

NEM夕方ピーク電力量シェア：蓄電池 vs ガス

8% vs 5.1%

蓄電池が初めてガスを上回る

蓄電池が価格を決定した給電インターバル比率

48%

1年前は18%

NEM接続待ち容量

80.9 GW

エンドツーエンド手続きの55%が蓄電池

Akaysha 蓄電池ポートフォリオ借換

A$17.5億

4案件 · 11行 · 5/7/10年

韓国 第3回ESS入札

1,180 MW

7.08 GWh · 11/11締切

今週のタイムライン

何が起きたか

日付	市場	出来事	ファイナンス上の意味
10/20	JP	イーレックスの千葉県山武郡芝山町蓄電所（1.99 MW / 8.15 MWh、LFP）が商業運転開始。同社は2028年に管理電源100 MWを目標。[6]	小規模高圧案件は稼働が続くが、単体ではPFを組むには小さすぎる。
10/20	AU	AkayshaがA$17.5億のポートフォリオ借換を完了。対象はOrana 415 MW/1,660 MWh、Elaine 311 MW/1,244 MWh、Brendale 205 MW/410 MWh、Ulinda Park第1期 155 MW/298 MWh。[16]	プラットフォーム単位の融資で期間は10年に延び、単一案件のマーチャントリスクが分散。
10/20	AU	ENGIEのHazelwood増設（150 MW/300 MWh）がビクトリア州の送電事業者資格を取得（10/16認定）。構内送電設備を再利用でき、ファイナンシャル・クローズに前進。[17]	石炭火力跡地の系統接続条件が希少資産に。
10/22	AU	AEMO 9月四半期接続スコアカード：待ち容量80.9 GW。今期新規25案件（7.5 GW）のうち19件が蓄電池（5.8 GW）。蓄電池4案件が登録完了（1 GW / 3.4 GWh）。[4]	新規蓄電池の供給が続き、裁定収益はさらに薄まる。
10/23	AU	AEMO四半期エネルギー動向 2026年Q3：平均価格A$63/MWh。夕方ピークで蓄電池8%がガス5.1%を上回る。蓄電池の1日平均充電13.4 GWh・放電10.9 GWh（1年前は3.7 / 3.2 GWh）。[1,2,3]	蓄電池は「限界的なピーク対応」から系統の主力へ。価格決定力は上がるが単位収益は低下。
10/26	SG	（発行日）EMAエネルギーインフラ計画：2030年に蓄電1 GWh強、現在約350 MWh。ESSビジョンの意見募集は2027/01/27まで。[12]	目標は現状の約3倍だが、調達・収益メカニズムは意見募集の結果待ち。

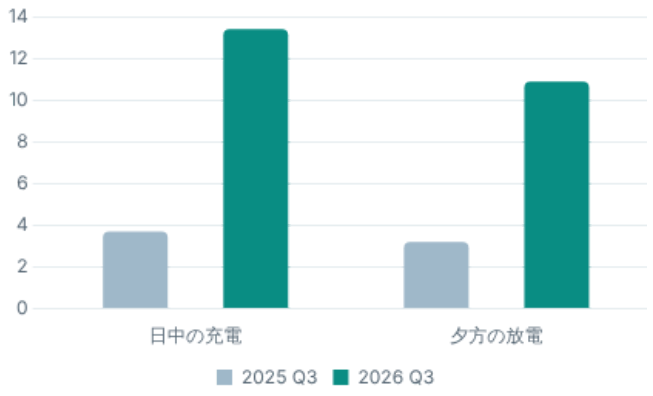
豪州

蓄電池が夕方ピークを制し、スプレッドは平準化が続く

確認済みの事実

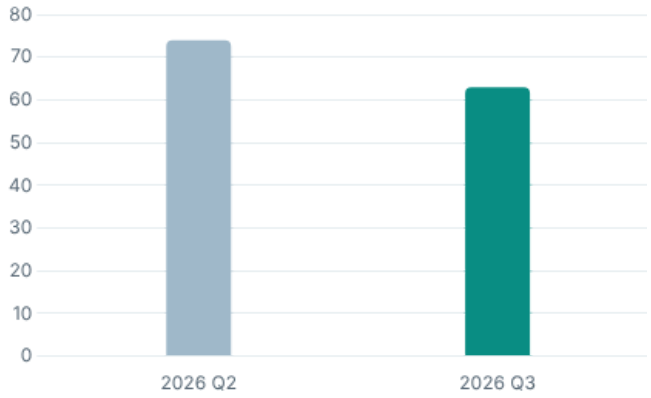
- 2026年Q3のNEM平均卸電力価格はA$63/MWhで、前年比-27%、前期比-15%、2021年以降で最も低い第3四半期となりました。[2]前四半期（Q2）はA$74/MWhでした。[14]
- 夕方ピーク（16:00–21:00）の供給シェアは蓄電池8%、ガス5.1%。ガス発電の平均は881 MWで前年比-34%。[2,3]
- 蓄電池は給電インターバルの48%で価格を決定（1年前は18%）。再エネはNEM発電量の44.3%を占め、第3四半期として過去最高。[1,3]
- 接続待ち容量80.9 GW。今期新規25案件のうち19件が蓄電池（5.8 GW）。AEMOは長時間蓄電の比率上昇を指摘。[4]
- 10/20、AkayshaがA$17.5億のポートフォリオ借換を完了：5・7・10年のタームローンに加え、リボルビングおよび偶発債務枠。貸し手はANZ、CBA、BNP Paribas、中国銀行、CIBC、Deutsche Bank、DNB、ING、みずほ、MUFG、Rabobank。各トランシェの金額・プライシングは非開示。[16]
- ENGIEのHazelwood増設は150 MW/300 MWhで、既存の150 MW/150 MWhと合わせ計300 MW/450 MWh、2028年完工予定。ファイナンシャル・クローズの時期は非開示。[17]

蓄電池の1日平均充放電量（GWh/日）



出典：AEMO QED Q3 2026（TokenPost経由）[3]

NEM平均卸電力価格（A$/MWh）



Q2：AEMOプレスリリース[14]、Q3：AEMO QED（IndexBox経由）[2]

分析

- 放電量は1年で約3.4倍に増えた一方、平均価格は27%下落。Q2で既に見られたスプレッドの85%縮小[13]と合わせると、純粋な裁定案件の単位収益は引き続き低下しています。
- 貸し手は通常、契約部分（CISの下支え、トーリング）のみで借入規模を決め、マーチャント部分は限定的にしか評価しません。新規案件の資金調達は、長期契約比率の引き上げとより長い放電時間（4時間以上）への依存を強めると見込まれます。
- 逆方向のシグナルにも注意：蓄電池が半数近くのインターバルで価格を決めていることは、価格決定力を持ち始めたことを意味します。熱波や石炭火力の故障などの極端な時間帯（例：10月中旬のNSW価格スパイク[15]）にはスパイク収益が依然存在しますが、予測は一層難しくなっています。

日本

小規模マーチャント蓄電所：ポートフォリオ融資が主流に

確認済みの事実

- 10/20、イーレックスの2件目の系統用蓄電池（千葉県芝山町、1,989.6 kW / 8,147 kWh、LFP）が商業運転開始。1件目は4月に運開。同社は2028年に管理電源100 MWを目標。[6]
- 10/8、日本蓄電池とリミックスポイントが組成し、ecoプロパティーズがアセットマネージャーを務めるファンド（SPV：合同会社NCパイオニア）が、SMTBリースと全国7カ所の高圧蓄電所を対象とするノンリコースPF契約を締結。収益は需給調整・卸・容量市場から。金額は非開示。[7]
- Trina Storageが野津案件（50 MW / 196 MWh、LTDA 20年インフレ連動契約、あおぞら銀行ノンリコース融資）に供給。2028年第3四半期の運開予定。[8]
- 10/1以降、系統接続が承認された案件は2カ月以内に土地権原の証明を提出しなければ接続枠を失います。2025年末時点で蓄電池の接続検討段階は約172 GW、接続済みは約0.64 GW。[9]

分析

- 日本では2つの資金調達ルートが現れています。大型案件はLTDA長期契約で従来型PF（野津、美作）。小規模高圧案件は複数サイトを束ね、長期契約の代わりに分散で信用を補います。後者のデューデリジェンスの要点は、ポートフォリオ内サイトの地理的・市場的分散、アグリゲーターの運用能力、キャッシュフローの管理です。
- 土地権原証明の新ルールは、土地を持たない投機的な接続申請を一掃し、既に土地と接続枠を確保した案件には追い風となり、成熟案件の取引評価を押し上げる可能性があります。

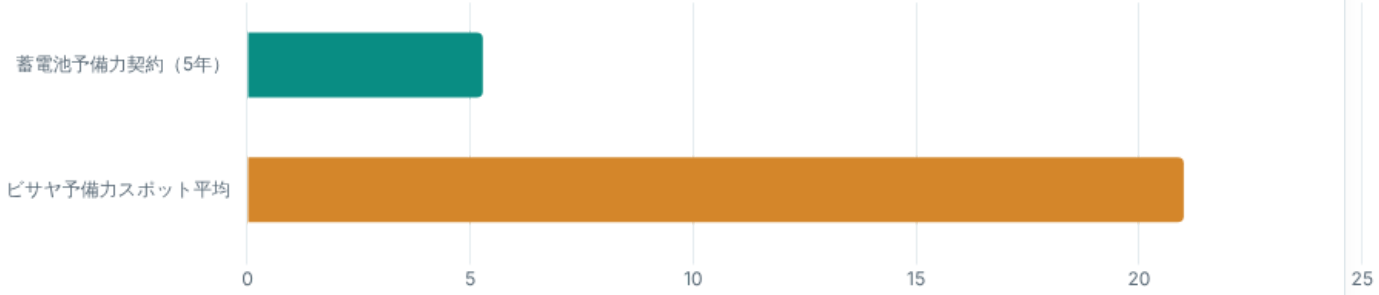
フィリピン・フォローアップ

契約で信頼性を買う（10/9暫定承認、10/12公表）

確認済みの事実

- ERCは10/9に暫定承認、10/12に公表：NGCPとEast Asia Utilities Corp.（AboitizPower子会社）の蓄電池予備力契約。セブ州マクタン（ラプラプ市）、44.72 MW。最大13 MWの調整予備力と13 MWの緊急予備力を提供。期間5年、暫定料金PHP 5.28/kWh。[5,18]
- ビサヤ予備力のスポット価格は直近平均で約PHP 21/kWh。1月から9月初めまでにビサヤでは黄色・赤色警報が計123回発令。[5]
- DOEは2026年末までにセブ、パナイ、レイテ、ネグロスで253 MWの蓄電池導入を推進。最終決定前に11/3、11/10に公聴会を開催。[5]

ビサヤ予備力：契約価格 vs スポット（PHP/kWh）



スポットは「約PHP 21/kWh」の直近平均で、21として描画。出典：ESS News[5]

分析

- 貸し手にとって、規制当局の承認を受け稼働率ペナルティ付きの容量型契約は、純粋なWESMスポット収入より信用評価が容易です。
- ただし5年の期間は多くのプロジェクトローンより短く、満期後の更新・再価格設定リスクはキャッシュスイープや短めの返済期間で緩和する必要があります。また現時点では暫定承認にすぎず、最終決定で料金が変わる可能性があります。

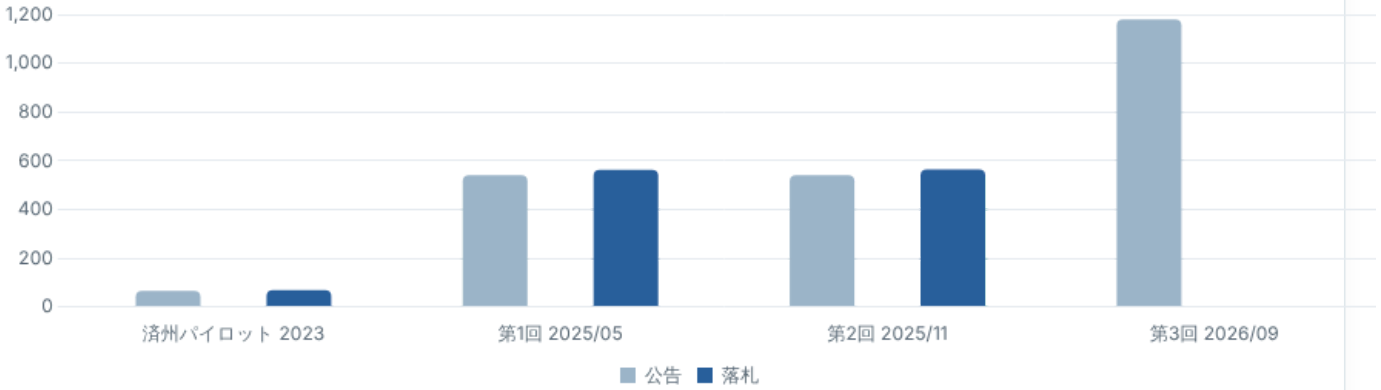
韓国

第3回締切前：価格比重が勢力図を決める

確認済みの事実

- 中央契約ESS入札の経過：済州パイロット（2023/08）公告65 MW・落札68 MW、運転中。第1回（2025/05）公告540 MW・落札563 MW、2026年末完工が条件。第2回（2025/11）公告540 MW・落札565 MW、2027年末完工が条件。[10]
- 第3回（2026/09/22公告）：1,180 MW（本土1,100 + 済州80）、6時間で計7.08 GWh。11/11締切、11月中に選定、2029/02までに完工。価格・非価格の比重は各50%。済州の長寿命システムは25年契約を選択可能。[10,11]
- 電池シェア：第1回はサムスンSDI約76%。第2回はSK On 50.3%、サムスンSDI 35.7%、LGエナジーソリューション14.0%。2回累計でサムスンSDI 56%、SK On 25%、LGエナジーソリューション19%。[10,11]

各回の公告 vs 落札（MW）



第3回の落札結果は11月発表。出典：조달경제신문[10]

分析

- 15年固定容量契約により韓国の落札案件はバンカビリティが高く、競争の焦点は「融資できるか」から「誰が最も安く入札するか」へ移りました。
- 第3回は規模が倍増し接続条件も緩和されたため、入札競争は一層激しくなる見込みです。LFPが価格を押し下げ続ければ、落札容量価格は低下し、案件IRRの余地は縮小する可能性があります。

シンガポール・台湾

その他の市場

シンガポール（10/26発表）

- EMAエネルギーインフラ計画：2030年に蓄電1 GWh強、現在約350 MWhが運転中。太陽光目標は2035年に4 GWpへ拡大。送配電投資S$53億（2025–2029）。ESSビジョンの意見募集は2027/01/27まで。[12]

台湾

- 今週は確認可能な系統用蓄電の重要な公開進展は見つかりませんでした。台湾電力の深澳蓄電入札（2026年末または2027年見込み）を引き続き注視します。

ファイナンスの視点

市場別の収益アンカーと貸し手の着眼点

市場	主な収益アンカー	今週のシグナル	貸し手の着眼点
AU	CISの下支え、トーリング、裁定 + FCAS	平均価格-27%、AkayshaのA$17.5億ポートフォリオ借換	契約部分で借入規模を決定、マーチャント部分は割引評価
JP	LTDA 20年契約、マーチャント（卸 / 需給調整 / 容量）	小規模マーチャント・ポートフォリオPFが成立	ポートフォリオの分散度、アグリゲーターの能力、キャッシュフロー管理
PH	予備力サービス契約、WESM	5年の蓄電池予備力契約（暫定承認）	契約期間がローン期間より短い、最終決定の内容
KR	KPX 15年固定容量契約	第3回1,180 MWの締切が目前	入札価格の圧力、電池・消防安全要件
SG	EMA入札契約	2030年 >1 GWh 目標	調達・収益メカニズムは意見募集を経て決定
TW	台湾電力 E-dReg アンシラリーサービス	今週は新たな進展なし	アンシラリー価格とルール変更

今後の注目点

日程

日付	市場	事項
11/03、11/10	PH	ERCがNGCP–EAUC蓄電池予備力契約の公聴会を開催、その後最終決定
11/11	KR	第3回ESS中央契約入札締切、11月中に落札者発表
2026年末	PH	DOE目標：ビサヤで蓄電池253 MWが運転開始
2027/01/27	SG	ESSビジョン意見募集締切

出典

資料出典

1. The Energy「Shifting demand patterns drive new records in the NEM」2026/10/23。theenergy.co
2. IndexBox「Renewables and batteries push Australian gas generation to quarter-century low」2026/10/24（AEMO QED Q3 2026を引用）。indexbox.io

3. TokenPost「Grid Batteries Beat Gas in Australia's NEM Evening Peak for the First Time」2026/10/23。tokenpost.com
4. RenewEconomy、AEMO 9月四半期接続スコアカードに関する報道、2026/10/22。reneweconomy.com.au
5. ESS News「Philippine regulator fast-tracks battery reserve deal for Visayas grid」2026/10/20。ess-news.com
6. 財経新聞、イーレックス系統用蓄電池2号案件の商業運転開始、2026/10/21。zaikei.co.jp
7. 日本蓄電池株式会社「系統用蓄電池事業におけるプロジェクトファイナンス契約締結について」PR TIMES、2026/10/08。prtimes.jp
8. ESS News「Trina Storage to supply 196 MWh battery system for Japan's Nozu project」2026/10/26。ess-news.com
9. ESS News「Japan curbs grid capacity hoarding as battery queue hits 172 GW」2026/10/02。ess-news.com
10. 조달경제신문「ESS 3차 입찰 1,180MW 확정」2026/09。jodaleconomy.com
11. 중앙이코노미뉴스「두 배 커진 ESS 중앙계약시장 3차전」2026/09/22。joongangenews.com
12. Energy-Storage.News「Singapore targets 1GWh of energy storage in Energy Infrastructure Plan」2026/10/26。energy-storage.news
13. Energy-Storage.News「Battery price spreads fall 85% in Australia's NEM in a year」2026/07/29。energy-storage.news
14. AEMO、Quarterly Energy Dynamics Q2 2026 プレスリリース。aemo.com.au
15. ABC News「Spring heatwave and coal outages deliver $2m payday for home battery owners」2026/10/17。abc.net.au
16. Energy-Storage.News「Akaysha Energy secures AU$1.75 billion portfolio financing for Australian BESS expansion」2026/10/20。energy-storage.news
17. Energy-Storage.News「Hazelwood BESS expansion in Australia set to double storage capacity at former coal site」2026/10/20。energy-storage.news
18. Daily Tribune「ERC clears Cebu battery deal to ease Visayas power risks」2026/10/12。tribune.net.ph

---

本レポートは公開情報に基づいて作成し、「確認済みの事実」と「分析」を区別して表示しています。分析は筆者の見解であり、投資・与信・法律上の助言ではありません。一部の豪州データはAEMO報告書のメディア報道によるもので、正式に利用する前にAEMOの原典をご確認ください。非開示の金額・料金・契約条件は非開示と表記し、推測はしていません。